

## 平成22年度管内初任者研修指導教員部会の開催

6月2日(水)、水戸合同庁舎2階大会議室を会場に、平成22年度水戸教育事務所管内初任者研修指導教員部会を開催しました。

本年度、水戸教育事務所管内では、小学校に35人、中学校に40人、計75人の教諭が採用されました。初任者研修は、これら新任教員（以下「初任者」という）に対して、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させることを目的として実施しております。



この初任者研修を支えるのは、拠点校指導教員19人、校内指導教員56人、計75人の指導教員です。拠点校指導教員は、自校を含め3～4校の初任者を担当し、主に校内研修の指導及び助言に当たります。校内指導教員は、自校の初任者を担当し、校内研修のコーディネーター及び初任者に対する直接的な指導助言に当たります。

本部会では、初任者研修が年間研修計画にしたがって円滑に実施されるように、管内の指導教員が校内研修の資料を持ち寄って協議や情報交換を行いました。その結果、次のような成果がありました。

- グループ協議では、はじめての指導教員と経験豊富な指導教員が同じグループになるように工夫した。これまでの指導経験から、うまくいった事例や問題点への効果的な対応策が紹介されるなど、今後の研修に生かせる話し合いができた。
- 校内研修の資料を持ち寄って協議や情報交換を行ったことにより、課題解決のための具体的な話し合いができた。また、今後の研修に役立つ資料を持ち帰ることができた。
- 拠点校指導教員と担当する学校の校内指導教員の打合せの時間をとった。普段、打合せの時間がなかなかとれない状況があり、好評であった。また、今後の打合せの持ち方についても確認することができた。
- 報告書など提出書類の作成上の留意点を確認することができた。

- ・ 日常の授業についてどのように指導するか工夫しています。授業の略案や板書計画などを書いてもらい、良いところを認め励ましています。自信をもって子どもの前に立ち、子どもの成長にかかわれることに教師としてのやりがいを感じてほしいと願って指導しています。
- ・ 自分の免許教科以外についても指導できるよう努力しています。初任者と同じ免許教科の先生の授業を参観させてもらったり、その教科の指導法に関する本を購入して自分でも勉強したりして、指導に当たっています。
- ・ 初任者は、学級だよりの書き方や事務処理の仕方など実務的なことを知りたがっています。それも大切なことですが、教員としての使命感を十分に持ってもらうことを第一に考えています。
- ・ つらい、やめたいと思うこともあるようです。しかし、良い点はたくさんあり、それをほめてあげると、やる気がわいてくるようです。これからも、山あり谷ありになると思いますが、一緒に寄り添って力づけていきたいと考えています。

～協議の様子から～

